

児童生徒の「主体的な学び」を促す授業実践

1 基本情報

◇各教科等 遊びの指導（おはなし）

◇学部・学年 小学部 第5学年

◇単元名 劇遊びをしようⅠ

◇単元の目標

- ・話の流れに沿って、友だちと一緒に、運んだり、届けたりするなどの活動を進んで行うことができる。
- ・話の流れや音楽に応じていろいろな動きをすることができる。
- ・劇遊びを通して、友だちとかかわりを持ち、仲よく遊ぶことができる。
- ・劇遊びを通して、進んで集団での遊びに参加し、簡単な役割を果たすことができる。

◇付けたい力 相手を意識しながら一緒に活動することができる。

◇本時の目標 写真や指示書を見て、友だちに正しくプレゼントを渡すことができる。

◇生徒の実態 どの児童も、相手を意識した行動や発言が増えてきており、社会性が育ってきているが、一方的なかかわりで完結してしまう事が多く、双方向のやりとりは難しい。

2 期待する児童生徒の姿

物を渡すなどの活動で、相手をしっかりと意識した言葉掛けや動作をすることができる。

3 指導者が捉えた児童生徒の「主体的な学び」

- ・絵本の読み聞かせで、自分から読み手をすると立候補して絵本を読んでいた。
- ・絵本のページをめくる係を任せると、指示がなくても自分から手を伸ばしてページをめくろうとしていた。
- ・興味のあるものを教材として使用することで、渡す側の児童だけでなく、受け取る側の児童が自分から手を差し出すことができた。
- ・「ぼくがやる」などと、積極的に活動しようとする児童がいた。
- ・正解・不正解を音で表すことで、正解した時に笑顔になったり、「やったー」と喜んだりしていた。